

ヴィータ歯科通信

2013年
3月号

院長ご挨拶

〜開院3周年を迎えました！〜

こんにちは。院長の河添です。

お陰さまで、当院は開院3周年を迎えました！

2010年にヴィータ黒川で開業することになり、不安と期待とでドキドキしていたことを思い出します。

ご来院いただく患者さんお1人お1人に「ご支援いただき、無事にクリニックを運営することができております。

本当にありがとうございます！

ただ、この3周年は通過点に過ぎません。これから、5周年・10周年・20周年と、**良い方向に進みながら**一歩一歩着実に歩んでいきたいと思っています。

今回、3周年企画として、「ご来院いただく皆さんへの『アンケート』」を実施しています。「ご協力のほど、何卒よろしくお願い致します。

これからも「**ご来院いただく皆さまにとって、より良い歯科医院**」となれるように努力していきますので、ぜひ皆さんの率直なご感想・ご意見をお聞かせください。

今後ともヴィータ歯科をよろしくお願い致します！



院長
河添克明

歯とお口の健康のお話 第12回

〜歯周病Q&A〜

歯とお口の健康のために大切なことは…

- ① 毎日の正しいブラッシング
- ② 歯科医院での定期的なクリーニング

発行者：ヴィータ歯科

名古屋北区黒川本通4丁目38 2階

ご予約は：052・508・7879

知っておきたい歯の基礎知識 29

〜歯と全身疾患の関係②〜

大人が歯を失う原因として最も多いのは『**歯周病**』です。つい見過ごされがちですが、歯が「健康」なことは、日常生活の中でとても重要なことです。

歯周病の症状や原因を知って、予防に努めましょう！

Q. **歯周病になる年齢は？**



歯周病は、30〜40代以降の病気という印象が強いかもしれませんが、最近では10代や20代といった若い世代の患者さんも多くなっています。

とはいっても、歯周病の初期症状である『**歯肉炎**』にかかる場合が多いことも事実です。初期段階の歯肉炎であれば、少し注意するだけで症状は改善できます。

歯周病は、細菌が原因の**感染症**であると同時に、日頃の生活習慣が影響する**生活習慣病**でもあります。

若い方の歯周病は、この『**生活習慣**』がキーワードです。例えば、『**歯みがきをする**』ことも大切な生活習慣です。

日常的な生活習慣を見直すことも、歯周病予防では重要なこととなります。

今回は『**動脈硬化**』と歯の病気についてお話します。動脈硬化とは、血管の壁が内側に厚くなり、**血管が狭くなって血液の流れが悪くなった状態**のことです。

血管の壁にコレステロールなどが沈着して、血液の通り道が狭くなったり詰まったりします。

これが心臓の血管で起きると狭心症や心筋梗塞、脳の血管で起きれば脳梗塞を引き起こされます。



実は、『**歯周病**』の原因菌がお口の中から血液中に取り込まれてしまうことが、**動脈硬化の危険因子**のひとつになっていることが明らかになってきました。

歯周病菌は、血管の壁の部分で炎症を起こしやすくなります。その結果、コレステロールの沈着を促したり、細胞を傷つけたりすると考えられています。

歯周病の原因となる細菌をコントロールすることは、『**動脈硬化を予防**』することにもなります。身体の健康を守るためにも、歯周病のケアに取り組みましょう！